

ChatGPT 活用初級

公式シラバス ver.1.0

ChatGPT Practical Beginner — Official Syllabus

発行	プライベート AI 推進協会 (PAPA) privatellm.jp
バージョン	ver.1.0 / 2026年2月
対象資格	ChatGPT 活用初級
受験料	¥5,000 (税込)
配布	無料 (privatellm.jp)

1. 資格の概要

ChatGPT 活用初級は、ChatGPT をはじめとする生成 AI を業務で安全かつ効果的に活用できるスキルを証明する資格です。

「なんとなく使っている」から「目的に応じて使いこなせる」へ。実務直結のスキルを体系的に証明します。

2. 試験概要

対象者	ChatGPT・生成 AI を業務で活用したいビジネスパーソン (AI 基本検定取得推奨)
出題数	20 問 (4 択)
試験時間	30 分
合格基準	70%以上 (14 問正解)
受験形式	オンライン (自宅・職場から受験可能)
受験料	¥5,000 (税込)
合格証有効期限	2 年間 (更新時は半額)

推奨学習時間	5~8 時間 (1 週間以内)
前提推奨	AI 基本検定取得 (必須ではない)

3. 出題範囲

分野	出題比率	問題数	主なキーワード
ChatGPT の基礎・仕組み	20%	約 4 問	GPT-4・モデル種類・プラン・API・トークン
プロンプトエンジニアリング	30%	約 6 問	指示・役割・具体化・Chain of Thought・Few-shot
業務活用・実践テクニック	25%	約 5 問	文書作成・要約・翻訳・コード・データ分析
安全・倫理・法的注意点	25%	約 5 問	情報漏洩・著作権・ファクトチェック・利用規約

第1分野: ChatGPT の基礎・仕組み (20%・約 4 問)

- ChatGPT・GPT-4o の概要と特徴
- 無料版・Plus・Team プランの違いと選択基準
- トークンの概念と入出力制限
- ChatGPT API とコンシューマー版の違い
- カスタム GPT (GPTs) の概要
- ChatGPT 以外の主要 AI (Claude・Gemini・Copilot) との比較

第2分野: プロンプトエンジニアリング (30%・約 6 問)

本検定の最重要分野です。良いプロンプトを書く能力が実務活用力の核心です。

- 明確な指示の書き方 (5W1H・具体化)
- 役割設定 (ペルソナ・System prompt)
- 出力形式の指定 (箇条書き・表・JSON 等)
- Chain of Thought (段階的思考) プロンプト
- Few-shot プロンプト (例示による精度向上)
- 反復改善 (イテレーション) のアプローチ
- プロンプトのアンチパターン (よくある失敗)
- コンテキストウィンドウの理解と活用

第3分野：業務活用・実践テクニック（25%・約5問）

- ビジネス文書作成（メール・報告書・提案書）
- 長文要約・議事録作成の実践
- 翻訳・多言語対応での活用
- アイデア発散・ブレインストーミングへの活用
- データ分析・表の読み解き（Advanced Data Analysis）
- コードの説明・簡単なスクリプト作成依頼
- 画像読み取り（マルチモーダル）の活用
- ChatGPT を使った業務フロー設計

第4分野：安全・倫理・法的注意点（25%・約5問）

- 情報漏洩リスク – 入力してはいけない情報
- OpenAI のデータ利用ポリシーの概要
- 著作権・知的財産権と AI 生成コンテンツ
- ハルシネーション対策とファクトチェックの重要性
- AI の偏見（バイアス）と差別的出力への注意
- 社内規定・AI ガバナンスの整備
- 個人情報保護法・GDPR と ChatGPT 利用

4. 推奨学習方法

- STEP 1: AI 基本検定のテキストで AI 基礎を確認
- STEP 2: 公式テキスト（ChatGPT 活用初級）を通読
- STEP 3: 実際に ChatGPT で各テクニックを試す（実践必須）
- STEP 4: 模擬試験 20 問で弱点を確認・復習

5. 次のステップ

ChatGPT 活用初級合格後は、データを社外に出さない AI 活用スキルへの発展を推奨します。

- PrivateLLM 構築士 3 級（¥8,000） – 社内 AI の概念・導入判断スキル
- PrivateLLM 構築士 2 級（¥15,000） – 社内 AI 構築の実装スキル

プライベート AI 推進協会 (PAPA) privatellm.jp